



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月12日

上場会社名 日本ハウズイング株式会社
 コード番号 4781 URL <https://www.housing.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小佐野 台
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画部長 (氏名) 奥田 実
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5379-4141

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	86,161	8.6	4,617	37.4	4,600	37.9	2,639	28.0
2019年3月期第3四半期	79,375	6.8	3,361	11.1	3,336	12.9	2,062	20.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,594百万円 (28.3%) 2019年3月期第3四半期 2,021百万円 (5.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	164.14	
2019年3月期第3四半期	128.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	54,191	31,938	57.6	1,940.95
2019年3月期	56,639	30,935	52.7	1,857.46

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 31,207百万円 2019年3月期 29,864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		34.00		36.00	70.00
2020年3月期		36.00			
2020年3月期(予想)				36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,600	4.0	5,830	5.4	5,830	5.1	3,750	7.9	233.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	16,080,000 株	2019年3月期	16,080,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	1,779 株	2019年3月期	1,779 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	16,078,221 株	2019年3月期3Q	16,078,221 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	当第3四半期	前年同四半期	前期比
売上高	86,161	79,375	8.6%
営業利益	4,617	3,361	37.4%
経常利益	4,600	3,336	37.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,639	2,062	28.0%

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、製造業を中心に一部で足踏み感があるものの、企業収益は高い水準で推移していることや、雇用情勢の改善および個人消費の持ち直しを受け、景気については緩やかな回復基調が続きました。海外経済においては、中国を中心としたアジア新興国では景気の減速が見られていますが、米国の景気回復が続いている等、全体としては国内同様に緩やかな回復基調を維持しています。先行きについては、通商問題の動向や中国経済の先行き等、金融資本市場の変動等が経済に与える影響に加え、消費税引き上げ後の消費動向について留意が必要な状況です。

このような状況のもと、当社企業グループは、各管理事業で管理ストックの増加に注力するとともに、営繕工事業において消費税改定前に前倒し案件が多数発生したことで、前年同期比で増収・増益となりました。また、当社連結子会社であった大連豪之英物業管理有限公司については、第2四半期連結会計期間において出資持分のすべてを譲渡したことに伴い、連結上の帳簿価額と売却価額の差額312百万円を関係会社株式売却損として計上しております。

その結果、売上高は86,161百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は4,617百万円（前年同期比37.4%増）、経常利益は4,600百万円（前年同期比37.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,639百万円（前年同期比28.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	当第3四半期	前年同四半期	前期比	当第3四半期	前年同四半期	前期比
マンション管理事業	38,394	37,400	2.7%	3,082	2,864	7.6%
ビル管理事業	8,117	8,655	△6.2%	492	525	△6.2%
不動産管理事業	4,182	4,229	△1.1%	396	435	△9.0%
営繕工事業	35,467	29,089	21.9%	2,725	1,640	66.1%
消去又は全社	—	—	—	△2,079	△2,104	—
合計	86,161	79,375	8.6%	4,617	3,361	37.4%

① マンション管理事業

マンション管理事業につきましては、前連結会計年度に受託した物件が計画通りに稼働したことや、管理委託料値上げの効果、保険契約の長期化による手数料の増加及び国内子会社の日本コミュニティー株式会社における大型のリノベーション工事が売上高及び利益に寄与いたしました。

その結果、売上高は38,394百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は3,082百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

② ビル管理事業

ビル管理事業につきましては、中国における当社連結子会社であった大連豪之英物業管理有限公司の出資持分全てを譲渡したことが大きく売上高及び利益に影響いたしました。

その結果、売上高は8,117百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益は492百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

③ 不動産管理事業

不動産管理事業につきましては、管理ストックから派生する周辺事業が前年同期と比較し低調に推移したことが売上高に影響し、人件費を中心とする販管費の増加が利益に影響いたしました。

その結果、売上高は4,182百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は396百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

④ 営繕工事業

営繕工事業につきましては、消費税率改定前に大規模工事・小修繕工事問わず前倒し案件が多数発生したことや、国内子会社の業績が前年同期に比べ順調に推移したことが売上高及び利益に寄与いたしました。

その結果、売上高は35,467百万円（前年同期比21.9%増）、営業利益は2,725百万円（前年同期比66.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	当第3四半期末	2019年3月期	増減
資 産	54,191	56,639	△2,448
負 債	22,252	25,703	△3,451
純 資 産	31,938	30,935	1,002
うち 自 己 資 本	31,207	29,864	1,342
期 末 有 利 子 負 債	4,234	5,831	△1,596
自 己 資 本 比 率 (%)	57.6	52.7	4.9

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,448百万円減少し、54,191百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少2,536百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,451百万円減少し、22,252百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,480百万円、有利子負債の減少1,596百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,002百万円増加し、31,938百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加2,639百万円、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少1,157百万円、連結子会社の出資持分譲渡に伴う非支配株主持分の減少407百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました業績予想に変更ございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,235	18,990
受取手形及び売掛金	16,863	14,327
未成工事支出金	965	2,496
原材料及び貯蔵品	196	178
その他	1,872	1,088
貸倒引当金	△55	△65
流動資産合計	39,079	37,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,156	4,112
機械装置及び運搬具(純額)	100	83
工具、器具及び備品(純額)	441	413
土地	6,782	6,877
有形固定資産合計	11,481	11,487
無形固定資産		
のれん	1,365	1,149
その他	910	956
無形固定資産合計	2,276	2,105
投資その他の資産		
投資有価証券	200	183
関係会社株式	99	117
差入保証金	1,111	1,019
繰延税金資産	910	913
その他	1,609	1,472
貸倒引当金	△129	△124
投資その他の資産合計	3,803	3,582
固定資産合計	17,560	17,175
資産合計	56,639	54,191

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,574	6,093
短期借入金	3,948	2,710
1年内返済予定の長期借入金	556	405
未払法人税等	1,082	748
未払費用	2,609	2,698
賞与引当金	1,690	919
工事損失引当金	8	3
工事補償損失引当金	23	23
その他	5,229	6,111
流動負債合計	22,723	19,714
固定負債		
長期借入金	1,325	1,118
退職給付に係る負債	529	399
繰延税金負債	211	195
その他	913	825
固定負債合計	2,980	2,538
負債合計	25,703	22,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,492	2,492
資本剰余金	2,132	2,132
利益剰余金	25,286	26,768
自己株式	△1	△1
株主資本合計	29,910	31,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28	25
為替換算調整勘定	△95	△213
退職給付に係る調整累計額	20	2
その他の包括利益累計額合計	△45	△185
非支配株主持分	1,071	731
純資産合計	30,935	31,938
負債純資産合計	56,639	54,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	79,375	86,161
売上原価	60,777	65,832
売上総利益	18,597	20,329
販売費及び一般管理費	15,236	15,712
営業利益	3,361	4,617
営業外収益		
受取利息	18	13
受取配当金	6	6
持分法による投資利益	17	18
その他	66	67
営業外収益合計	109	105
営業外費用		
支払利息	81	82
その他	53	39
営業外費用合計	134	122
経常利益	3,336	4,600
特別利益		
固定資産売却益	88	—
特別利益合計	88	—
特別損失		
関係会社株式売却損	—	312
特別損失合計	—	312
税金等調整前四半期純利益	3,424	4,287
法人税等	1,261	1,538
四半期純利益	2,162	2,749
非支配株主に帰属する四半期純利益	100	109
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,062	2,639

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,162	2,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△2
為替換算調整勘定	△106	△133
退職給付に係る調整額	△8	△17
その他の包括利益合計	△140	△154
四半期包括利益	2,021	2,594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,947	2,500
非支配株主に係る四半期包括利益	74	94

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、原則として、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マンション 管理事業	ビル 管理事業	不動産 管理事業	営繕工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,400	8,655	4,229	29,089	79,375	—	79,375
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35	12	200	1	249	△249	—
計	37,435	8,667	4,430	29,090	79,624	△249	79,375
セグメント利益	2,864	525	435	1,640	5,465	△2,104	3,361

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,104百万円は、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,106百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マンション 管理事業	ビル 管理事業	不動産 管理事業	営繕工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	38,394	8,117	4,182	35,467	86,161	—	86,161
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79	19	206	16	320	△320	—
計	38,473	8,136	4,388	35,483	86,482	△320	86,161
セグメント利益	3,082	492	396	2,725	6,696	△2,079	4,617

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,079百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。